

テニス・コートの整備に就いて

1. 一般的な整備要領

- イ. 使用前 コートを使用する場合、先ず撒水、ブラッシング、及びローラー転圧を施し、コートの状態を良好にして、使用して下さい。
- ロ. 使用后 プレーにより、荒らされた部分は、トンボ均しによって修復を行い、転圧、ブラッシングを掛け、赤ライン上の清掃も心掛けて下さい。
尚、ブラッシング、転圧はネットを外して隅々まで十分に、またタテ、ヨコ、交互に行ってください。
- ハ. その他 乾燥期には、プレー中に於いても度々撒水を施して下さい。
水溜り箇所を生じた場合、簡単に補修する要領としては、その場所を、十分に目荒したる後に、補充材を敷均し転圧する。
排水側溝や排水管に、泥土や落葉等が詰った場合には、直ちに清掃し除いて下さい。

2. 季節的な整備要領

コート完成後、若干の間中は表層材（アンツーカー）のおさまる迄軟弱で、プレーによる荒れ易いので、使用後のトンボ均し及びローラーの転圧は特に十分に励行して下さい。

- イ. 梅雨期 ベースライン附近や、前衛の場所は、特にプレーによる荒れ激しく、水溜り等を生じると思われるので、長雨の後、コートが軟弱な時に水溜り箇所を目荒らしして、材料を補充の上均転圧する。
降雨でコート面が弛むので、使用前後の転圧は、十分に行ってください。亦、会所、側溝の清掃等も怠りなく実施して下さい。
- ロ. 夏 期 コート使用前後の撒水は十分に行ってください。
プレー中に於いても表面アンツーカー層が、白っぽく呈すれば、直ちに撒水して下さい。撒水のみでは不十分と思はれる時は、苦汁を撒布した後、撒水をする
と水持ちが良くなります。
又、乾燥によりコート面が荒れた場合は、トンボ均しの後、撒水転圧を行ってください。
- ハ. 冬 期 霜害防止の為、コート面に不要な水分を含ませない事が大切です。
その方法として、
 - シートによる冠養生する
 - 苦汁の撒布によりコート面の温度を上げる
 - 転圧を十分に実施し、含んだ水分を出してやるコートは常に良く使用して、コートを自然的に固くして、水を表面で流すようにする